

節分会のご案内

仏教勉強会のご案内

◆◆◆とき
申込場所 1月26日(日)午後2時
浦和靈園 一階礼拝堂
管理事務所 ☎ 048-812-1121 記

厄年に当たる方

- 男性 4・25・42・61歳の方
- 女性 4・19・33・61歳の方

※各年齢の前後に前厄・後厄があります



7月	5月	4月	3月	2月	12月	◇	◇	◇	◇	◇	◇	講師
・	月	月	月	月	月	参	時	間	所	場	・	小林智觀
8月	19日	19日	15日	15日	15日	参	加	費	・	JR	浦和駅前	小林智觀
	(火)	(日)	(日)	(日)	(日)	・	無	料	・	午前	10時	午前10時
お休み	深川不動	課外授業	写経	般若心経	般若心経	般若心経	心経	を学ぶ	本院	大松院	前	大松院
	参拝	予習	①	②	①	②	①	②				



お申込みは下記まで
お電話にて

大松院 ☎ 048-882-9205
靈園 ☎ 048-812-1121

令和2年回忌表



子年の守り本尊は、
千手観音様
ご真言は・・・
オンバザラタラマ
キリク

1周忌	平成31年（令和元年）
3回忌	平成30年
7回忌	平成26年
13回忌	平成20年
17回忌	平成16年
23回忌	平成10年
27回忌	平成 6年
33回忌	昭和63年
50回忌	昭和46年

来年の行事予定

- 法話会・葬儀セミナー
5月中旬～6月初旬

○合同慰靈祭
7月13日(月)
8月13日(木)

○送り火の夕べ
8月15日(土)

するような方向になつております。それは、一人一人の存在を大切にすると、いう面では、とても重要なことだと思います。一方で、個人が優先するあまり、家族の関係、その人の周りとのつながりが、軽視されているのでは、と感じることも少なくありません。精神的に豊かになつたといつても、精神的な部分で満たされない、不安を

より

VOL. 21

令和元年12月号

電話 048-812-1121

FAX 048-878-7272

編集者 三浦清志

き、必ずや皆さんに何かしらの形で返つてくるものと信じております。

皆さまの周りの方々にも、ご家族を大切に見守り、そして亡きご先祖様を供養する行動の大切さをお伝えしていただき、一人でも多くの方が幸多き、心安らかの日々をお送りされますことをお祈り申し上げます。

年明けには、恒例の靈園節分祭を開催いたします。どうぞ一年の弥栄いやさかを祈りしつつ、ご家族でお連れ合わせの上、ご参加くださいますようお願ひ申し上げます。お会いできるのを楽しみにしております。合掌

「おめでたる」



皆さま いつもお世話になつております。新元号 令和になり、早くも八か月余りが過ぎようとしております。この間、当霊園では、取得した土地の擁壁工事、墓地造成を進めてまいりました。これから時代にあつた、お求めやすい区画の整備を進行中です。年明けには皆様にご案内できると存じます。

さて、平成を振り返つてみますと、経済の低迷、災害の多発など激動の時代であつたように思ひます。私たちは今一度、日本人が大切にしてきたご先祖様を大切にし、供養して、心の抛り所とする事を思い出す時ではないかと感じております。今現在の世間の風潮は、個人を尊重し、自由、権利を主張



ご挨拶

大松院住職
片岡智鶴

The image shows a vertical yellow rectangular banner with black Japanese text. The text is arranged in four horizontal rows: the first row contains three large characters '浦' (Urawa), the second row contains three large characters '和' (Wa), the third row contains three large characters '靈' (Rei), and the fourth row contains three large characters '園' (En). Below the banner is a black five-petaled flower emblem, likely a stylized camellia or similar design.

VOL. 21

令和元年12月号

電話 048-819-1121

- 10 -

恒佳孝 二浦洁士

編者：一而再

今を大切に生きる

「七日間」

早いもので今年も暮れになりました。今年は天皇即位というおめでたい歳であつたと同時に、災害の多い歳でもありました。

お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

さて、今年話題となつたものの中に、がんの闘病の末に亡くなられた女性が綴つた「七日間」という詩があります。この詩は当初、夫の宮本英司さんが新聞に投稿し、それが反響を呼んでインターネットを通じて瞬く間に広がりました。テレビで取り上げられ、歌になりましたので、ご存じの方も多いかと思います。

この詩を遺されたのは宮本容子さんという女性です。闘病中の容子さんが綴つた文章に、夫の英司さんが言葉を添えるようにしてご夫婦の交換日記は始まりました。その中で容子さんが亡くなる一月ほど前、「家に帰つたら、何がしたい?」といふ英司さんの問い合わせに答えたものがこの「七日間」という詩です。

二日目には趣味の手作りカレーもシチューも冷凍しておくわ
あなたが好きな餃子や肉味噌
三日目にはお片付け
私の好きな古布や紅絹
どれも思いが詰まつたものだけど
どなたか貰つてくださいね
四日目には愛犬連れて
あなたとドライブに行こう
少しげんきな箱根がいいかな
五日目には子供や孫の
一年分の誕生会
ケーキもちゃんと11個買つて
六年目には友達集まつて
思い出の公園手つなぎ歩く
六年目には友達集まつて
お酒も少し飲みましょ
そしてカラオケで十八番を歌うの
七日目にはあなたと二人きり
静かに部屋で過ごしましょ

この詩の中で語られる容子さんの願いは、人生で叶わなかつた特別なことではなく、どれも人生で味わつてきた、静かに静かに時の来るのを待つわ

この詩の中で語られる容子さんの願いは、人生で叶わなかつた特別なことではなく、どれも人生で味わつてきた、静かに静かに時の来るのを待つわ

この詩の中で語られる容子さんの願いは、人生で叶わなかつた特別なことではなく、どれも人生で味わつてきた、静かに静かに時の来るのを待つわ

11区予定 87区画

墓地の広さ (m ²)	区画数
1.68	17
0.36	40
0.30	30



○・三〇m²の墓石（予定）



○・三六m²の墓石（予定）

新区画販売のお知らせ

卒塔婆料値上げのお知らせ

卒塔婆持ち込みについて

※区画数・墓石の内容などは、予告なく変更になることがあります。詳しくは、管理事務所までお問い合わせください

施主様がお寺様に依頼して卒塔婆を持ち込まれる場合、これまで無料とさせていただいておりましたが、令和2年1月より1本につき四百円をお支払いたいと申します。これまで、靈園内にて焼却処分しておりましたが、行政の指導により、業者へ委託、有料処分することとなりました。皆さまには、ご負担おかげいたしましたが、何とぞご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

浦和靈園では、開園以来21年間、大松院及び管理事務所がご紹介のお寺様の卒塔婆料は、1本三千円にて、浄書・ご供養してまいりました。しかし、昨今の原材料費の上昇、消費税のアップなどにより維持することが困難となりました。そこで令和2年1月の塔婆から、1本四千円とさせていただきます。皆さまには、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

死を前にして、余計なものを全て削ぎ落とした時に発せられた容子さんの言葉は、私たちに本当に大切なものが何かを教えてくれます。最後に残る言葉が容子さんのようであるように。

そんな生き方をして行きたいと思いました。

副住職 小林智観 記